

## 平成13年度 第6回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

1 日時 平成13年11月15日(木)13:30～14:00

2 場所 ほっとプラザ大供 2階 第2研修室

3 出席者 別紙委員名簿を参照(2名欠席)

4 傍聴者 3名

### 5 会議の概要

岡山市善隣館のあり方について、前回までの審議をふまえて作成した報告書(案)について事務局より説明の後、自由に意見等をいただいた。

### 6 主要な意見

経費に関しては、赤字が問題ではなく、他の民間と比した表現にしてはどうか。

大筋においてはこれでよいが、公設公営では今の体制を変えていくのには時間がかかる。速やかに子ども達にとってよい環境にするためには民営がよいということを強調してほしい。

公設民営にした場合、施設設備等に公的負担が求められるという表現があるが、これまで以上に経費がかかるような感じを受ける。表現方法を変えては、

チェック機能のところに心理的な面、心のケアも含めたチェックの必要性について触れてはどうか。

児童家庭支援センターの附置は、公設民営の場合も必要なのではないか。本文にも資料にも入れてほしい。